

問1	1853年の開国以降、日本は急速な近代化を目指しました。明治政府がフランスの技術を導入して設立した官営模範工場で、後に世界遺産にも登録された施設の名称を選択してください。 （2022年 鳥取県公立入試 類似）			
	1. 八幡製鉄所	2. 三菱長崎造船所	3. 富岡製糸場	4. 芝浦製作所
問2	明治政府の大久保利通らが主導し、福島県の中通り地方における安積開拓や、群馬県の富岡製糸場のような官営模範工場の設立、さらに交通・通信網の整備などを通じて、近代的な産業の育成を図った一連の政策を何と呼びますか。 （2018年 福島県公立入試 類似）			
	1. 文明開化	2. 殖産興業	3. 富国強兵	4. 地租改正
問3	2024年から発行が開始された新しい千円札の肖像に採用された人物で、ペスト菌の発見や破傷風の血清療法を確立したことで知られる医学者は誰ですか。 （2023年 沖縄県公立入試 類似）			
	1. 津田梅子	2. 北里柴三郎	3. 志賀潔	4. 野口英世
問4	1889年の大日本帝国憲法発布から1914年の第一次世界大戦開始までの期間における、日本の文化的な出来事として正しい説明はどれですか。 （2023年 長崎県公立入試 類似）			
	1. 湯川秀樹が中間子の理論を発表し、日本で初めてノーベル賞を受賞した	2. 太陰暦が廃止され、太陽暦が採用されたことで人々の生活リズムが変化した	3. ラジオ放送が開始され、情報がリアルタイムで家庭に届くようになった	4. 夏目漱石が「坊っちゃん」などの作品を発表し、近代的な個人のあり方を描いた
問5	大日本帝国憲法の作成にあたり、伊藤博文らはドイツの宰相ビスマルクらの助言を受けました。制定された大日本帝国憲法における「天皇の地位や権限」についての説明として最も適切なものを選びなさい。 （2025年 宮崎県公立入試 類似）			
	1. 天皇は国権の最高機関として位置づけられ、内閣の助言と承認のみに基づいて行動した。	2. 天皇は国の元首であり、統治権を総攬する立場として強い君主権を持っていた。	3. 天皇は国民の代表として象徴的な地位にとどまり、政治的権限を持たなかった。	4. 天皇は人民の権利保障を中心とする立場から、法律を超えて権利を保護した。
問6	日清戦争前の国際関係を描いたビゴーの風刺画では、日本と清が朝鮮半島という利害をめぐって対立し、その背後でロシアが機会をうかがっている状況が示されています。この時期の背景として最も適切な説明はどれですか。 （2018年 秋田県公立入試 類似）			
	1. 日本とロシアが満州の利害をめぐって軍事同盟を結び、清に対して共同で圧力をかけていた。	2. 日本が欧米列強と協力して、ロシアによる朝鮮半島の占領を阻止するために清と協力体制を築いていた。	3. 日本と清が朝鮮半島への影響力を強めようとして対立しており、さらにロシアが南下政策によってこの地域への進出を狙っていた。	4. 清が台湾を完全に支配下に置いたことに対し、日本とロシアが抗議して朝鮮半島の独立を支援していた。
問7	自由民権運動が高まる中で、民衆が政府に対して「国会の開設」を強く要求した背景にある、当時の政治状況の説明として最も適切なものはどれですか。 （2019年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 外国との不平等条約を改正するために国民の同意が必要だったため	2. 特定の藩の出身者が権力を独占する専制的な政治が行われていたため	3. 地方の農民が地租改正に反対して武装蜂起を繰り返していたため	4. 天皇自らがすべての政治決定を行う親政体制が確立されていたため
問8	1920年頃の日本の文化的な変化を記した資料において、文学の世界で文章を口語の文体で表現する動きが社会に定着したことが示されています。この「言文一致」という動きが近代日本の発展において果たした役割として、最も適切な説明はどれですか。 （2022年 愛媛県公立入試 類似）			
	1. 一部の特権階級にしか理解できなかった文章を平易にすることで、より広い層の人々が思想や感情を共有することを可能にした。	2. 義務教育の現場において、地方ごとの方言をすべて廃止し、古文の文法のみで会話を行うことを強制する基準となった。	3. 江戸時代から続く候文を公的な文書に限定して残すことで、武家社会の伝統を現代に継承させる役割を果たした。	4. 欧米諸国の言語をそのまま日本語の文法に当てはめることで、日本語を廃止して英語を公用語にするための準備とした。
問9	明治政府は、日本の近代化を進める「殖産興業」の政策の一環として、1872年に群馬県へ官営模範工場を設置しました。輸出の主力製品であった生糸の品質向上と、西洋の機械技術の普及を目的としたこの工場の名称を答えなさい。 （2015年 長崎県公立入試 類似）			
	1. 八幡製鉄所	2. 大阪砲兵工廠	3. 長崎造船所	4. 富岡製糸場
問10	作家の樋口一葉が誕生した年である1872年に公布された「学制」をめぐる当時の社会状況について、正しい説明はどれですか。 （2024年 山口県公立入試 類似）			
	1. 徴兵令と同時に実施されたことで、軍事教育を主目的とする小学校が全国各地に優先して建設された。	2. 政府による手厚い財政支援により、公布から1年足らずで全国の就学率は90%を超え、順調に普及した。	3. 国民皆学の理念を掲げたが、学校の建設費や授業料が民衆の負担であったため、各地で反対一揆が起こった。	4. 江戸時代の寺子屋での教育内容をそのまま引き継いだため、農村部では混乱なく受け入れられた。
問11	日露戦争後の日本の社会情勢について述べた次の文のうち、1905年に発生した日比谷焼打ち事件の直接的な背景として最も適切なものはどれですか。 （2024年 大分県公立入試 類似）			
	1. 戦時中の増税に苦しんでいた国民が、講和条約においてロシアから賠償金が得られなかったことに強く反発した。	2. 1929年に発生した世界恐慌の影響で日本の輸出が激減し、農村が疲弊して深刻な社会不安が広がった。	3. 大正時代に発生した深刻な米不足により米価が急騰し、富山県の主婦らが米の安売りを求めて行動した。	4. 明治初期の地租改正による重い税負担に対し、土地の所有権を主張する農民たちが各地で一揆を起こした。
問12	明治時代の産業発展の象徴として、イギリスから輸入されたレールなどの資材を用いて整備されたインフラについて、当時の状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 （2016年 鳥取県公立入試 類似）			
	1. 蒸気船の国内自給率を高めるため、すべての造船資材を国産品で賄うことが義務付けられた。	2. 1872年に新橋・横浜間で鉄道が開通し、物資や人間の移動速度が飛躍的に向上した。	3. 江戸時代の参勤交代制度を維持するため、宿場町を結ぶ五街道の拡充が最優先された。	4. 全国に国道が整備され、馬車による大規模な輸送ネットワークが確立された。
問13	明治時代、栃木県の渡良瀬川流域で発生した日本初の本格的な公害事件において、衆議院議員として国会で政府の責任を厳しく追及し、のちに議員を辞職して明治天皇への直訴を試みるなど、被害住民の救済に生涯を捧げた政治家は誰ですか。 （2019年 大阪府公立入試 類似）			
	1. 田中正造	2. 井上馨	3. 原敬	4. 板垣退助

答え合わせ・解説

問1	答え 3 富岡製糸場	1872年、明治政府は殖産興業の一環として群馬県に富岡製糸場を設立しました。フランスから技師や機械を招き、全国から集まった工女たちに技術を習得させることで、日本全体の製糸技術の向上を図りました。八幡製鉄所は日清戦争後の下関条約による賠償金をもとに建設された鉄鋼工場であり、設立時期や目的が異なります。
問2	答え 2 殖産興業	明治政府は欧米諸国に対抗できる近代国家を目指し、経済基盤を強化するために産業の育成を図りました。これを「殖産興業」と呼び、政府が直接経営する官営模範工場の建設や、鉄道・郵便といったインフラの整備、さらには士族授産を目的とした安積開拓などの大規模な開発事業を推進しました。
問3	答え 2 北里柴三郎	ドイツのコッホに師事して世界で初めて破傷風菌の純粋培養に成功し、その治療法である血清療法を開発しました。その後、香港でペスト菌を発見するなど、伝染病予防の先駆者として「日本の細菌学の父」と称えられています。2024年に実施された紙幣の刷新において、野口英世に代わり千円札の肖像となりました。
問4	答え 4 夏目漱石が「坊っちゃん」などの作品を発表し、近代的な個人のあり方を描いた	大日本帝国憲法の制定後、日清・日露戦争を経て日本が強国を目指した時期には、個人の内面を重視する近代文学が大きく発展しました。この期間内に夏目漱石は数々の代表作を世に送り出しています。一方で、太陽暦の採用は1872年（明治5年）の出来事であり、ラジオ放送の開始は大正時代末期の1925年、湯川秀樹のノーベル賞受賞は戦後の1949年の出来事であるため、時期が重なりません。
問5	答え 2 天皇は国の元首であり、統治権を総攬する立場として強い君主権を持っていた。	大日本帝国憲法ではプロイセン憲法にならい、天皇は国の元首として統治権を合わせ持つ（総攬する）強い権限が定められました。国権の最高機関や象徴といった規定は、現在の日本国憲法に関する記述となります。
問6	答え 3 日本と清が朝鮮半島への影響力を強めようと対立しており、さらにロシアが南下政策によってこの地域への進出を狙っていた。	19世紀末の東アジアでは、近代化を進めて朝鮮半島への進出を図る日本と、従来の宗主国としての地位を維持しようとする清との間で対立が深まっていました。また、不凍港を求めて南下政策を推進するロシアもこの地域に強い関心を持っていました。こうした三国の利害が衝突する複雑な状況が、日清戦争の勃発へとつながっていきました。
問7	答え 2 特定の藩の出身者が権力を独占する専制的な政治が行われていたため	明治政府の要職が一部の藩の出身者で占められていたことに対し、板垣退助らはこれを「有司専制（官僚による独裁政治）」として批判しました。特権的な政治を打破し、広く国民の代表による合議制を実現することが、国会開設要求の大きな目的でした。
問8	答え 1 一部の特権階級にしか理解できなかった文章を平易にすることで、より広い層の人々が思想や感情を共有することを可能にした。	近代国家を形成する過程では、国民全体が同じ言葉で情報を共有し、教育を受けることが不可欠でした。言文一致によって文章が日常の言葉に近づいたことで、新聞や雑誌、小説などが広く普及し、人々の知識の向上や民主的な意識の芽生えを支える文化的基盤となりました。
問9	答え 4 富岡製糸場	明治政府は外貨を獲得するため、当時最大の輸出商品であった生糸の増産と品質向上を急ぎました。そのため、フランスから技術者や機械を導入し、模範となる工場を群馬県に建設しました。ここで技術を学んだ工女たちが全国の製糸工場に戻り、近代的な技術を広める役割を果たしました。
問10	答え 3 国民皆学の理念を掲げたが、学校の建設費や授業料が民衆の負担であったため、各地で反対一揆が起こった。	学制は近代国家への大きな一歩でしたが、当時の政府には十分な予算がなく、学校の建設費用や運営費、さらに授業料の多くが住民の負担とされました。生活に苦しむ農民たちにとって、子供を働き手として奪われることへの抵抗感もあり、各地で学校を破壊するなどの「学制反対一揆」が発生しました。就学率が男子で90%を超えるようになるのは、日露戦争後の明治時代後期になってからのことです。
問11	答え 1 戦時中の増税に苦しんでいた国民が、講和条約においてロシアから賠償金が得られなかったことに強く反発した。	日露戦争は、それまでの日清戦争とは比較にならないほど多額の戦費を費やしました。政府は国民に対して「愛国心」を訴え、重い税を課しましたが、講和会議の結果、領土の割譲は南樺太などに留まり、賠償金は一切支払われませんでした。これにより、増税で生活が困窮していた国民の怒りが、講和会議の全権大使であった小村寿太郎や政府に向けられることとなりました。
問12	答え 2 1872年に新橋・横浜間で鉄道が開通し、物資や人間の移動速度が飛躍的に向上した。	殖産興業の一環として、政府は交通網の整備に力を入れました。1872年にはイギリスの技術援助を受けて新橋・横浜間に初めての鉄道が開通しました。当初はレールや機関車などの主要な資材をイギリスから輸入していましたが、これが後の日本の工業化と物流の近代化を支える大きな基盤となりました。
問13	答え 1 田中正造	足尾銅山鉱毒事件では、鉱山から流出した有害物質により渡良瀬川の魚が死滅し、流域の農地に深刻な被害が出ました。栃木県出身の田中正造は、帝国議会でこの問題を追及し続けましたが、政府の対応が不十分であったため、1901年に議員を辞職してまで明治天皇に直接訴えるという行動に出ました。これは当時の社会に大きな衝撃を与え、公害問題が世に知れ渡る契機となりました。